

[成果情報名] 認定農業者の農業経営改善計画の達成状況と課題

[要約] 認定農業者の過半が計画目標を未達成としており、特に果樹、露地・施設野菜の後継者なしの達成率が低い。未達成要因では、年間所得目標の向上が圧倒的に高く、露地野菜、工芸作物で農地の規模拡大、露地野菜、花きでコスト低減が高かった。2回以上の計画更新者の連続未達成者も全部門共通して多く、営農類型の見直しなど適切な計画策定が課題である。

[キーワード] 経営改善計画、所得、認定農業者

[担当] 農林技術開発センター・研究企画部門・研究企画室

[連絡先] (代表) 0957-26-3330、(直通) 0957-26-4328

[区分] 総合・営農

[分類] 行政

[背景・ねらい]

2010年1月に長崎県農業経営改善ネットワークが実施したアンケート調査(回答者2750経営体)から後継者の存在や主な経営部門で認定農業者の目標達成状況などを分析し、認定農業者の育成確保に向けた課題等を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. 農業経営改善計画の目標達成に対する回答では、達成が34%、未達成が51%と、過半が未達成である。達成が未達成を上回った主要部門は、肉用牛(繁殖)、工芸作物、露地野菜で、他の主要部門は未達成が過半となった。後継者有無での達成率は、ほとんどの部門で後継者ありが、達成率が高くなっており、特に、果樹、露地・施設野菜で、後継者なしの達成率の低さが目立つ(図1、2)。
2. 未達成要因は「年間所得目標の向上(確保)」が圧倒的に高く、目標達成の判断が所得面をもって行われている。「年間所得目標の向上(確保)」の回答者における他の未達成要因では、農地の規模拡大が露地野菜、工芸作物、コスト低減が露地野菜、花きで高いなど、部門によってその特徴が異なっているが、所得向上に直接的・間接的にかかわる項目であることから、これらの対策が部門ごとの農業所得向上のために優先的に取り組む事項といえる(図3、4)。
3. 2回以上計画更新した経営者の目標達成状況の変化では、直近及び前回とも達成が全部門で13%に対し、未達成は33%で果樹の48%をはじめ、全部門共通して高い傾向である。連続未達成は長期にわたり所得確保が十分にされていないことから、新規品目・品種導入や営農類型の見直し等線形計画法などの手法を活用した営農計画策定が必要と推察される(表1)。

[成果の活用面・留意点]

1. 認定農業者の育成確保に向けた取組や支援方策の参考となる。
2. 認定農業者2750経営体の回答結果であり、地域・市町により回答率のバラツキがあるものの、個別での支援は、十分な経営実態を把握することによる支援の展開が必要となる。

[具体的データ]



図1 主要部門・達成未達成回答率

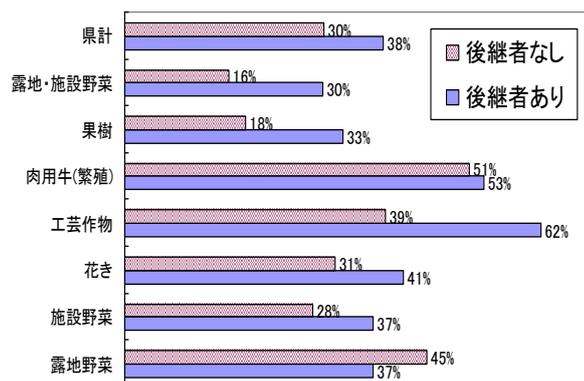


図2 主要部門・後継者有無別計画達成率

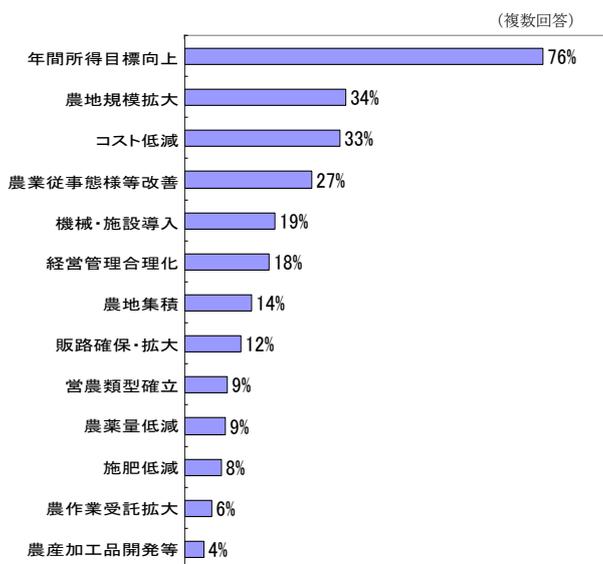


図3 計画未達成者の未達成要因

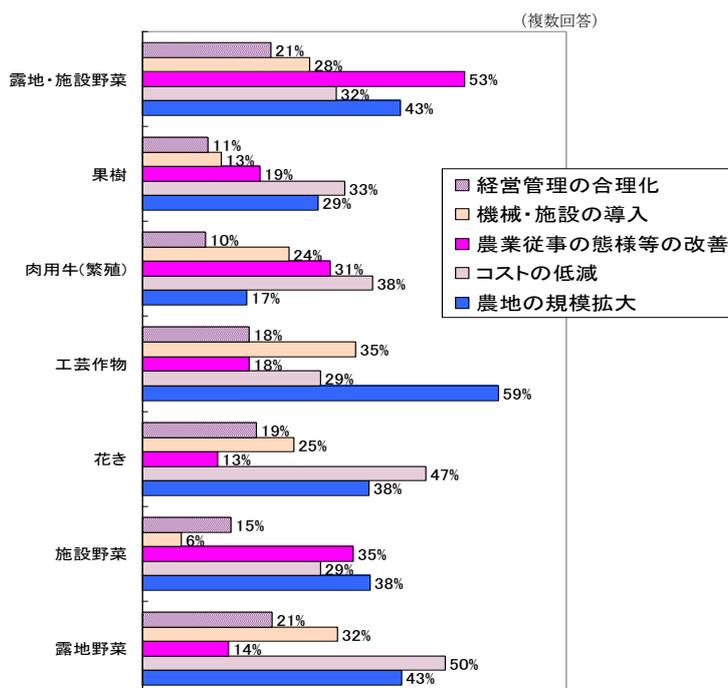


図4 主要部門別計画未達成者の未達成要因 (所得向上回答者のみ)

表1 2回以上計画更新者の達成・未達成の変化

状況推移	露地野菜	施設野菜	花き	工芸作物	肉用牛(繁殖)	果樹	露地・施設野菜	県計
達成→達成	25%	4%	22%	17%	17%	10%	7%	13%
未達成→達成	13%	15%	6%	28%	17%	15%	0%	12%
わからない→達成	0%	9%	0%	6%	17%	0%	7%	5%
達成→未達成	25%	17%	6%	0%	8%	8%	13%	12%
未達成→未達成	13%	30%	33%	22%	33%	48%	27%	33%
わからない→未達成	6%	9%	0%	11%	0%	4%	7%	6%
達成→わからない	6%	6%	0%	11%	0%	4%	7%	5%
未達成→わからない	0%	11%	11%	0%	8%	4%	27%	9%
わからない→わからない	13%	0%	22%	6%	0%	8%	7%	6%

[その他]

研究課題名：びわ産地の復興と経営再建のための営農計画策定・評価手法の開発

予算区分：県単

研究期間：2008～2010年度

研究担当者：清水一也、土井謙児